

1 市民・1 スポーツの推進に協力いただく

「関市ふるさと応援アスリート」委嘱します

関市では、各スポーツ界で活躍される関市出身、または関市との関わりがあった選手の皆さんに、スポーツの楽しさ、健康づくりの大切さを市民の皆さんに伝えていただくとともに、子どもたちがスポーツへの関心を深めることの手助けをしていただく、「関市ふるさと応援アスリート」制度を新設いたしました。

この制度では、関市出身または関市との関わりがあったスポーツ選手（プロ・アマ、現役・引退、企業所属等一切問わない。チームも含）を「関市ふるさと応援アスリート」として委嘱し、学校での課外授業や部活動、スポーツ少年団などでの技術指導、スポーツ講演会の講師や体力づくりの指導などに協力していただくものです。

そこで、今回、下記の2選手と1団体を「関市ふるさと応援アスリート」に委嘱することとし、委嘱式を行います。

○清本拓己さん

（サッカー選手／FC 岐阜所属・関市下有知出身）

○遠藤純輝さん

（サッカー選手／FC 岐阜所属・関市肥田瀬出身）

○中部学院大学・ゴルフ部（関市桐ヶ丘2-1）

<委嘱式>

平成28年1月22日（金） 午後3時～

関市役所 3階 市長応接室

◇問い合わせ先 関市教育委員会スポーツ推進課
0575-23-7766

【選手・団体の功績】

・ 清本 拓己 選手 <平成5年6月7日生まれ・22歳>

下有知サッカースポーツ少年団でサッカーを始め、中学時代はF.C.フォレスタ関ジュニアユースに所属。関商工高校に進学し2年時に岐阜県新人大会で優勝。3年時、岐阜県G1リーグで14試合14得点を挙げ得点王となり、岐阜県ベストイレブンにも選ばれた。

高校卒業後はオランダへ渡り、エクセルシオール・ロッテルダムやSCフェイエノールトのアマチュアチームでプレーしていたが、平成25年、FC岐阜トップチームセレクションに合格し地元のFC岐阜へ入団した。高校卒業までは一貫して地元チームでプレーし、知名度や人気もあり関市への貢献度も高くプロ選手でもあるため、ふるさと応援アスリートとして推薦したい。



(c) Kaz Photography/FC GIFU

・ 遠藤 純輝 選手 <平成6年12月8日生まれ・21歳>

孫六旭ヶ丘サッカースポーツ少年団でサッカーを始め、中学時代はFCシヨカトーレ関に所属。中京高校に進学し3年時に全国高校サッカー選手権大会岐阜県予選でベスト4に貢献。

高校卒業後はFC岐阜SECONDへ入団。在籍中はFC岐阜サッカースクールアシスタントコーチとして勤務し、平成25年の東京国体では岐阜県選抜として出場し成年男子の部で初優勝に貢献した。平成26年、FC岐阜トップチームに昇格し同年Jリーグで3得点を記録した。今年、結成40周年を迎える孫六サッカースポーツ少年団の出身で、知名度や人気もあり関市への貢献度も高くプロ選手であるため、ふるさと応援アスリートとして推薦したい。



(c) Kaz Photography/FC GIFU

・ 中部学院大学ゴルフ部

今年5月の中部学生ゴルフ春季学校対抗戦で優勝（3年連続）し、全国大会へ出場、5位（12校出場中）に入賞。また、秋季学校対抗戦でも優勝し、全国大会へ出場、7位（12校出場中）の成績を収めている。個人でも、複数の選手が中部の学生選手権で常に上位に入賞し、全国大会へ出場し好成績を収めている。また、本年度の国体では4名の選手が選出された。（岐阜県代表3名うち1名は女子、また愛知県代表に1名）

同部では、全国大学選手権男子6位、女子3位以内を目標に、各自が日々練習に取り組むとともに、エチケット、ルール、マナーを重んじ、ゴルフを通じて人格形成にも励んでいるため、ふるさと応援アスリートとして推薦したい。

（部員数 男子17名・女子9名 監督：桜井和男）

